

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	住宅販売会社 （営業）	お客様の様子	・商談数の高止まり状態が続いている。
	○	＊	＊	＊
(北陸)	□	スーパー（店 長）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県独自の非常事 態宣言が発出されている。飲食店が時短営業を実施するな ど、内食需要は拡大しているとみられる。その一方で来店 頻度の減少を感じる。単価は上昇しても来客数は減少して おり、売上高の増加にはつなげっていない。
	□	スーパー（総務 担当）	お客様の様子	・感染者数が多いままだが、新型コロナウイルスに慣れて きているようである。
	□	スーパー（仕入 担当）	販売量の動き	・ここ3か月の販売量において大きな変化がない。気温な どの外的要因を除けば、変化がみられない。
	□	コンビニ（店 長）	お客様の様子	・当店の売上だけ見れば随分改善し、前年よりも向上して いる。とはいえ新型コロナウイルス発生前の前々年と比べ 8%ほど低下しており、影響はある。まん延防止等重点措 置の適用中で、昼食をコンビニ弁当で済ますという考えの 人が増えているようで、その点が一番の改善理由だと感じ ている。ただし、身の回りの景気という観点で考えた場 合、業態における限定的な特需とみており、決して景気が 良くなったのではないと考える。
	□	コンビニ（営 業）	来客数の動き	・来客数が横ばいで推移している。
	□	衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、外出自粛が 求められるなかで来客数も売上も大幅に減少している。
	□	家電量販店（店 長）	販売量の動き	・東京オリンピック需要があるとみていたテレビやBDレ コーダーの売行きが平年と変わらない。
	□	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・商談件数は引き続き好調に推移している。
	□	自動車備品販売 店（役員）	来客数の動き	・集客面では前年と比較して悪化している状況である。業 種的にまん延防止等重点措置が適用されても影響は少ない とみていたが、日中の外出自粛なのか集客は大きく減少し ている。ただし、冬季用品の早期特売への反応は良く、少 しでもお買い得に購入しようとする傾向は例年以上だとみ ている。
	□	住関連専門店 （役員）	販売量の動き	・特に大きな変化は見当たらない。
	□	一般レストラン （統括）	それ以外	・変異株の発生により全国的に新型コロナウイルスの感染 が広がり、各都道府県で緊急事態宣言やまん延防止等重点 措置が出ている。それに伴い、営業時間の短縮や休業、ア ルコールの販売禁止等が長期間にわたって続いており、景 気がいつから上向きになるのか、全く予測できない状況で ある。
	□	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・8月に入り新型コロナウイルスによる感染者数の増加 と、大雨による天候不順で個人及び家族連れのキャンセル が多発したが、北信越インターハイが開催され前年並み には戻っている。しかし、新型コロナウイルス発生前と比べ ると50%程度の入込数と売上である。
	□	観光型旅館（ス タッフ）	来客数の動き	・県民宿泊割引の予約が7月16日より販売停止となり、G o T o T r a v e l キャンペーンも実施されていない ので、厳しい状況が続いている。
	□	通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響による来客数の減 少はみられない。ただ、財布のひもは固くなっているの か、販売数が低迷している。
	□	通信会社（役 員）	販売量の動き	・3か月前と変わらず、放送、通信共に前年同期比でほぼ 同レベルの契約者数で推移している。
□	通信会社（役 員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が大幅に 減少している業種も見受けられるが、当社の放送と通信事 業では、新規契約者数等は以前と比べ大きな変動はない。	

□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルスの影響で受注が振るわなかった ので、成績は前々年と比較しているが、業界も当社も 前々年よりは数字を伸ばしている。厳しい中だが、受注を 計上している。
▲	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響から人出が制限され、いつに なったら状況が改善されるのか、先の見通しが立たない。 ワクチンがある程度行き渡ればと期待を持っていたが、いつ になったら行き渡るのか、行政の指導力がみえてこない。
▲	一般小売店 [精 肉] (店長)	来客数の動き	・お盆は大して変わらなかった来客数が、百貨店の入場制 限の報道が出てから、少し減少したようにみえる。
▲	一般小売店 [鮮 魚] (役員)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置適用中のため、飲食店は昼の営業 だけである。観光客も激減し、商売にならない。
▲	一般小売店 [書 籍] (従業員)	来客数の動き	・外出を控える人が多く、ここ数か月は来客数ダウンが続 いている。
▲	百貨店 (販売促 進担当)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用され、来客数が激減の状態 である。また、首都圏のデパート地下街におけるクラス ター発生の報道などが地方にも影響し、今まで影響を受け にくかった食品にも影響が出てきており、非常に苦戦を強 いられている。
▲	百貨店 (販売担 当)	来客数の動き	・夏休みに入り予測以上に来客数が多く、お盆期間中は想 定以上に増加した。県外からの客も多い実感があつた。し かし、購入には非常に慎重で、新しい物や事を扱う催事、 食品関連は好調に推移したが、通常販売品の衣料品や雑貨 は70%程度と苦戦している。中盤からは新型コロナウイルス 感染者数が増加し、購入には更にシビアとなる一方、美術 品やブランド品などの購入には活発な動きがある。来客数 は伸びないながらも、高額商材に動きが出ている。
▲	コンビニ (経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がひどくなり、来客数が 減っている。
▲	コンビニ (営 業)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、一層人の流れが 悪くなっている。
▲	家電量販店 (本 部)	単価の動き	・来客数はともかく売上が厳しい。気温の影響もあって、 特にエアコンが厳しい。
▲	乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・半導体不足の影響でメーカーからの入荷が大幅に減少し ている状況が続いている。今月は、売上が今期初めて前年 を下回る月となっている。
▲	その他専門店 [酒] (経営 者)	販売量の動き	・全国どこでも同じだと思うが、緊急事態宣言の発出で当 店が商品を納めている商店も時短営業が強いられ、商品の 動きが少なくなってきた状態である。この期間が長引 かないように祈ることしかできない。
▲	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・8月2日から9月12日まではまん延防止等重点措置地域 に該当するため、酒類の提供ができず、営業時間が20時ま までである。夜は客が少ないため、部門によって平日の夜は 閉鎖している状況である。
▲	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、お盆以降は一段と悪く なっている。
▲	通信会社 (店舗 統括)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響があり、来客数が明らかに 減っている。
▲	パチンコ店 (経 理)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数増加が影響しているとみ ている。
▲	美容室 (経営 者)	お客様の様子	・変異株が増えてきており、特に夏休み明けの学校での感 染が心配である。商店街の人出もめっきり減ってきてい る。
▲	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・ウッドショックのほか、鉄製品の価格も上がり、とうと う住宅価格の引上げをせざるを得ない状況になっている。 他社は早々に値上げをしたところが多かったが、当社も約 4%のアップを決定している。これからの契約が減って くとみている。
▲	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置に加えてウッドショックによる木 材高騰で、客の動きが鈍いようである。

×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに猛暑、水害、近隣の大規模再開発工事など、悪い原因は幾らでも見つかるが、何が主たる原因なのか分からなくなるくらい来客数が減ってきている。例年、夏休み期間は高齢者の外出は少なくなる傾向だが、今年は特に堅調である。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・8月2日からまん延防止等重点措置が適用され、前月より更に人通りがなくなっている。お盆休みは大雨で、お盆明け以降も1日の来客数が0～3人である。
×	一般小売店〔事務用品〕（店長）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が1日で100人を超え、客が危機感を持っているためか、来客数が減少している。
×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・8月2日にまん延防止等重点措置が適用され、外出を控える動きが加速し、来店客が大幅に減少している。月全体の売上高は、前年比でマイナス13%、前々年比でマイナス23%の見込みで、今年1月以来の低水準で推移している。
×	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・前年と比べると来客数の減少分を買上点数で何とか上回っている。現状は固定客によって支えられており、それ以外の客は流動化している。
×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・従来であれば、夏休みやお盆のある8月は、年間で最も売上が期待できる月である。しかし、市況の悪化から来客数は激減している。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が過去最高を記録し、北陸3県で一番多くの感染者が出たため街に人がほとんど出ていない。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、感染への懸念から特に年齢が高くなるほど外出を自粛している。必然的に買物が縮小し、売上は減少している。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・中旬からエリア内の新型コロナウイルス感染者数の急増、県内の感染状況の悪化、まん延防止等重点措置の適用などにより、人々の行動自粛が顕著に表れており、来客数、販売量共に大きく影響を受けている。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月20日から9月12日までまん延防止等重点措置の適用となり、店は休業している。比較はできないが、今月19日までの来客数の動きは開店以来最低で、東京オリンピックやお盆休み、ワクチンの接種などの理由で来店しなかったのではないかと考える。
×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用と新型コロナウイルスの感染者数の増加で、宿泊者数が更に少なくなっている。宴会もない。レストランも1店舗のみの営業で、5店舗は休業している。
×	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・8月中旬以降予約キャンセルが出て、新規予約数は減少している。
×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・県内にまん延防止等重点措置が適用され、県内割引のキャンペーンが全て中止になり、キャンセルが相次いでいる。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない。まん延防止等重点措置が継続していることもあり、外出はなるべく避ける傾向である。営業マンの移動もなく、昼夜を問わずタクシー利用は低迷している。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の対象地域になってから、人の流れが極端に減少している。夜は完全に流れが止まっている。
×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響や緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置等の延長、夏の天候不順等で旅行者の数が大幅に減少しており、2～3か月前と比較しても厳しい状況である。
×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第5波がきて、まん延防止等重点措置対象地域となり、少し盛り上がり始めた行動や活動が一気にしぼんでいる。スタッフの周囲にも、実際に感染の影響が出ており、複数の自宅待機者やPCR検査が必要なスタッフが出てきている。会員にも休会など、利用を見合わせる人が出てきている。公共施設や行政からの健康づくり事業は全てキャンセルになり、売上が大幅に減少している。

企業 動向 関連 (北陸)	◎	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・2021年の初めからずっと受注金額は増えている。
	○	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・家庭消費向けの市販用商品は引き続き堅調に、また、テイクアウト需要向け業務用商品は好調に推移している。さらに、海外向け受注も好調で、受注、販売面共にプラス材料が勝っている状態である。
	○	繊維工業（総括）	受注量や販売量の動き	・国内のファッション衣料は依然として低調であるが、自動車用途やアウトドア関連は受注が回復している。海外のファッション衣料も回復してきている。企業によってばらつきはあるものの、新型コロナウイルス発生前の水準にまで回復した企業もある。ただし、自動車用途は半導体不足の影響が出ており、先行き不透明となっている。
	□	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・現在の受注状況は、変わらずに推移している。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からない状況や自動車減産の影響があり、今一つ回復に力強さが欠ける状態が続いている。
	□	建設業（経営者）	それ以外	・土木工事業がメインである当社の受注状況は前年同期と変わらず順調だが、移動を伴う旅行者、旅館業、飲食業などに関わる業種はコロナ禍で更なる打撃を被っている。まん延防止等重点措置が適用され、飲食業の営業は20時までで、酒類の提供ができなくなっている。
	□	輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大があり、前年比はクリアしたが、前々年比では依然としてマイナスとなっている。地場産業の繊維関係の荷動きは、新型コロナウイルス発生前の水準には戻っていない状況が続いている。
	□	通信業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・5月当初は徐々に上向き景気になると感じていたが、8月は新型コロナウイルスの感染拡大による影響が始め、思ったより販売量が伸びていない。
	□	金融業（融資担当）	取引先の様子	・倒産や民事再生等が増えてきている。個人破産のケースも出始めている。年明けから経済活動が活発化していたこともあり3か月前からは持ち直してきたが、変異株による感染拡大で緊急事態宣言が延長となり、結局景気は変わっていない。
	□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者からも、なかなか動かない状況が続いているという話を聞いている。
	▲	司法書士	取引先の様子	・6月事業年度の会社の損益計算書が前年より悪いものが多くなっている。
	▲	税理士（所長）	取引先の様子	・全体としては、新型コロナウイルスの影響で良くなったり悪くなったりである。日本は中国や東南アジアに部品を依存していることから、東南アジア等で新型コロナウイルスの感染が広がっていることもあり、電子機器で利用する半導体以外の細かい部品関係を扱う製造業において、部品の輸入が非常に滞っている。機械製造の受注ができて完成につながらず、最近はその需給関係がマイナス要因として顕著になってきている。住宅関係はウッドショックの影響を厳しく受けており、受注が減少している。
	×	輸送業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・一部の求職者はワクチン接種完了後に期待し、長期に構えて活動している。
	□	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・企業からの求人数が増えない。新型コロナウイルスによる影響が大きい。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・ここ数か月求人動きに大きな変化はみられない。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が若干減っている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・様々な業種の企業が、コロナ禍になって以来、最も元気がない感じがする。

	▲	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・新規の紹介依頼及び派遣依頼の受注が減少している。新 型コロナウイルスの感染拡大による影響があるとみてい る。
	×	—	—	—